

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 30年 6月 20日

和歌山県知事 殿



提出者
住所 和歌山市美園町5丁目61番
氏名 大鉄工業株式会社 和歌山支店
支店長 尾原 哲生
電話番号 073-432-6436

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

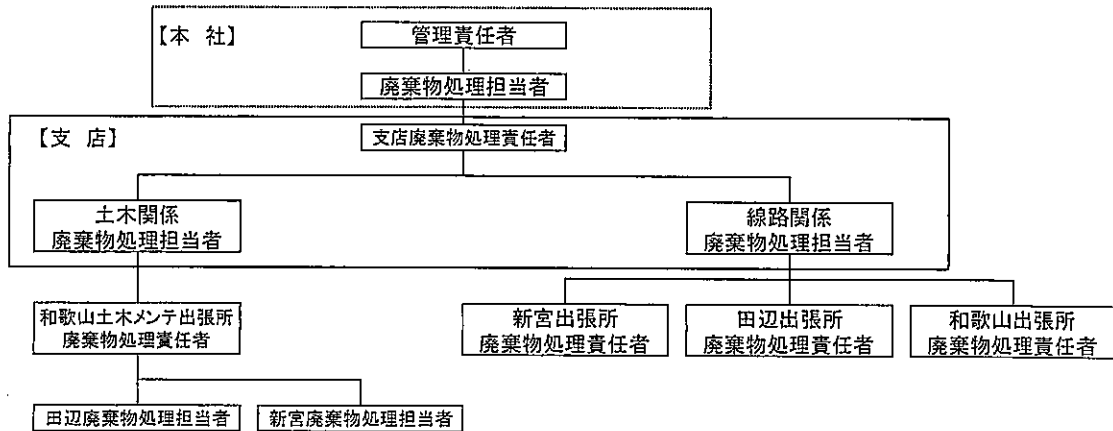
事業場の名称	大鉄工業株式会社 和歌山支店
事業場の所在地	和歌山市美園町5丁目61番地
計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	6. 総合工事業
②事業の規模	元請け完成工事高 26.6億円
③従業員数	76名 (平成30年4月1日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	産業廃棄物の発生抑制に向け、施主と施工法について検討して来たが、目標値よりも削減できた廃棄物や逆に増加した廃棄物などがあり、十分な結果に至らなかった。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	これまでに実施した取組を継続し、産業廃棄物の抑制に取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の発生量の削減に努め、安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別して来た。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) これまでに実施した取組を継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら直接再生使用に向け、コンクリートがら、アスファルトがらについて舗装の路盤材、裏込め土等の活用について施主と検討して来たが、自らの利用に至らず委託処理となった。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） これまでの取組みを継続し、自ら再生利用に努める。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら中間処理は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら中間処理は行わない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、処理を委託する業者の処分方法処分能力が適当か、現地に出向き確認する。 産業廃棄物適正処理チェック表を作成し、適正処理されていることの確認を行う。産業廃棄物の適正処理に向け、環境パトロールを実施する。 優良認定処理業者への委託を積極に行う。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) これまでに実施した取組を継続する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

[illegible]

[illegible]

1. 会社の概要

(1) 会社名

大鉄工業株式会社 DAITETSU KOUGYOU CO.LTD
系列/JR西日本グループ

(2) 所在地

本社：〒532-8532 大阪市淀川区西中島3丁目9番地15号
(TEL) 06-6195-6101

(3) 事業内容

- ・建設工事及び軌道工事の請負並びに測量、設計及び監督の請負
- ・砕石の採取及び販売
- ・各種工事材料の供給及び運搬
- ・工事用機械・器具の賃貸借
- ・不動産の売買、賃借及び仲介並びに管理

(4) 資本金

1,232,000,000円

(5) 従業員数

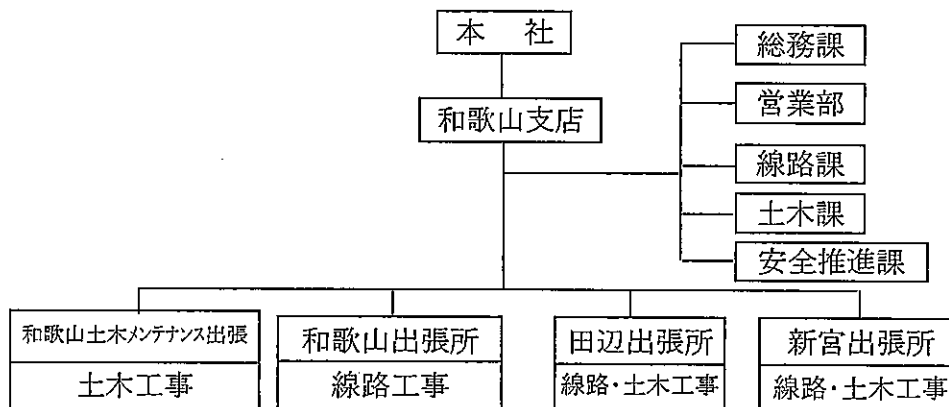
1,224人 (2017年6月31日現在)

(6) 完工高

883億

2. 当該事業場における事業概要

(1) 和歌山支店組織図



○所在地

和歌山支店	〒640-8331	和歌山市美園町5丁目61番地	(TEL) 073-432-6436
和歌山土木メンテナンス出張所	〒640-8331	和歌山市美園町5丁目22番地	(TEL) 073-423-5513
和歌山出張所	〒640-8343	和歌山市吉田94-1	(TEL) 073-432-0272
田辺出張所	〒646-0031	田辺市湊1198-1	(TEL) 0739-22-1280
新宮出張所	〒647-0020	新宮市徐福2丁目1番38号	(TEL) 0735-22-3670

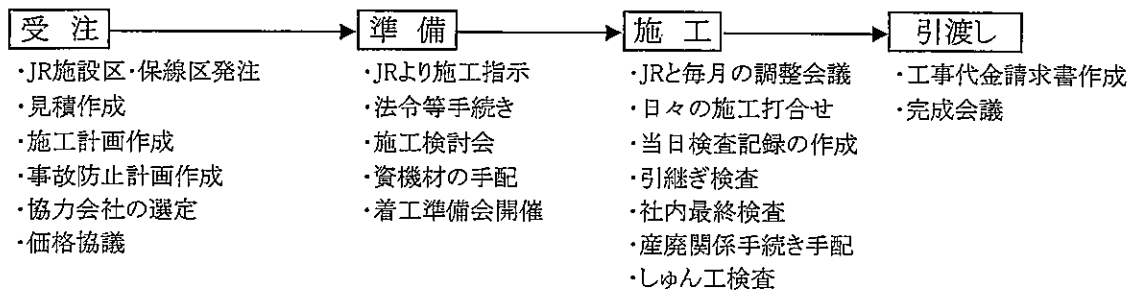
○工事担当エリア

和歌山土木メンテナンス出張所	JR和歌山施設区管内
	JR阪和線：長滝駅～和歌山 JR和歌山線：大和二見～田井ノ瀬
	JRきのくに線：和歌山～湯浅
和歌山出張所	JR和歌山保線区管内
	JR阪和線：長滝駅～和歌山 JR和歌山線：大和二見～田井ノ瀬
	JRきのくに線：和歌山～広川ビーチ
田辺出張所	JR田辺保線区管内
	JRきのくに線：紀伊由良～周参見
新宮出張所	新宮鉄道部管内
	JRきのくに線：新宮～周参見

(2) 従業員数
76名(平成30年4月1日現在)

(3) 完工高
線路工事 14.5億 土木工事 11.1億

(4) 施工管理フロー



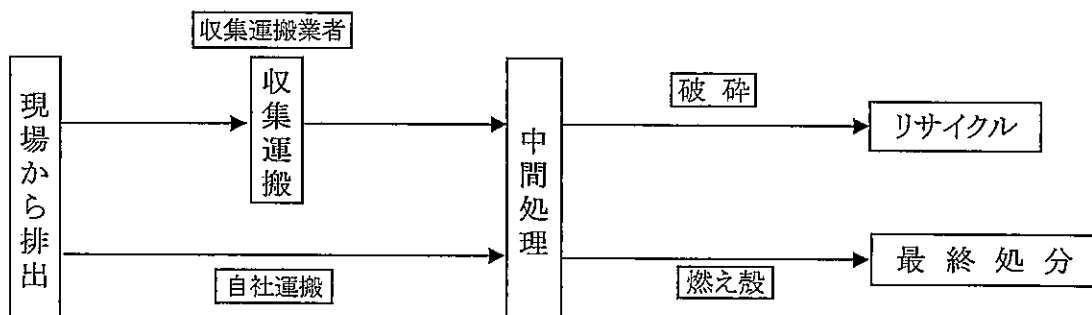
(5) 工事請負実績(平成29年度実績)

線路工事	主な件名	保線区管内軌道整備他工事・一般形PCマクラギ化工事 道床部分修繕工事・踏切拡幅工事 等	計 91件
土木工事	主な件名	和歌山支社管内土木修繕工事・和歌山支社管内防災工事 こ線橋耐震補強工事・のり面復旧工事 等	計 93件

(6) 事業展望

29年度和歌山支店の受注実績は26.6億であった。30年度は26.5億程度の受注確保を目標としている。工事はJR西日本発注工事がほとんどであり、官公庁・民間工事の受注にも力をそそいでいる。

(4) 産業廃棄物発生フロー図



※収集運搬業者・処理業者それぞれと委託契約を結ぶ

(5) 連絡先

和歌山市美園町5丁目61番地
大鉄工業株式会社 和歌山支店
担当者：線路課 松本 修作
電話番号 073-432-6436

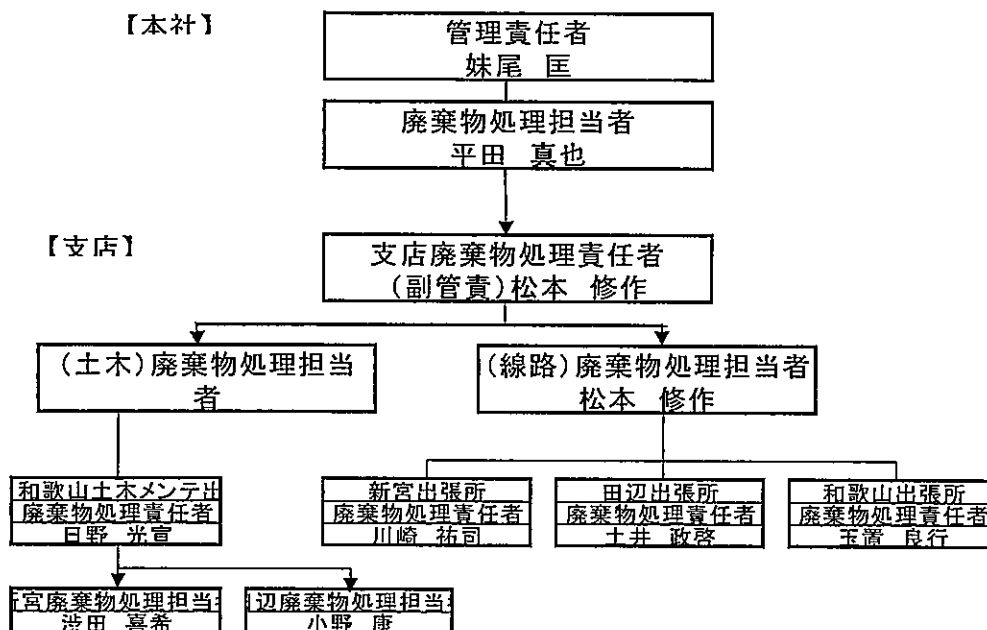
3. 計画期間

平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日 まで

平成29年4月1日から平成30年3月31日までに交付した産業廃棄物管理票について、産業廃棄物管理票交付等状況報告書を6月30日までに提出する。

4. 産業廃棄物の処理に係る管理体制事項

管理組織図



◎環境意識・管理の向上を目指した教育の実施

- ① 各課所責任者の参加により品質・環境委員会を実施(毎月1回実施)
- ② 社外で実施される各種説明会・研修会への参加
- ③ 産業廃棄物管理システムにより処理状況を迅速に把握し、データを月1回本社に報告
- ④ 各種説明会・研修会に参加した資料を各課所に配布し情報を共有

5. 産業廃棄物の排出の抑制

取組内容:コンクリートがら・アスファルトがらについては、自社内で再資源化し、舗装の路盤材、裏込め土等の資材として利用することを推進し、産業廃棄物の排出抑制に努める。

産業廃棄物の発生抑制に向け、施主(JR西日本)と施工法について十分検討し、出来る限り廃棄物を出さないよう努める。

6. 産業廃棄物の分別

取組内容:混合廃棄物の発生量の削減に努め、混合廃棄物のコンテナの設置を減らし、安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別するよう徹底する。

また、廃棄物の保管についても、「産業廃棄物保管基準」に従い保管し、保管場所の標示についても、種類別に記載する。

7. 産業廃棄物の再生利用

取組内容:現場での分別を徹底することにより、再生利用が可能な状態として処理業者に委託する。

再生利用を進める業者の動向を把握し、再生業者委託率を高める。

木くずの再生率100%を目指す。

8. 産業廃棄物の処理に関する事項

取組内容:委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、処理を委託する業者の処分方法処分能力が適当か、現地に出向き確認する。

産業廃棄物適正処理チェック表を作成し、適正処理されていることの確認を行う。

産業廃棄物の適正処理に向け、環境パトロールを実施する。